

福井市自立支援協議会 こども部会 課題提起シート

課題提起者名(所属)

課 題	<p>※「～が必要である。」という書き方にしてください。</p> <p>年長児における就学を見据えての放デイ利用申し込みにおいて、(早いもの勝ちではなく、)必要な人が利用できる環境が必要である。</p>
概 要 及 び 現 状	<p>【概要】</p> <p>卒園後に向けて放デイの利用を希望する場合、その存在を知った保護者が早々に放デイの利用予約をし、入学直前に知った保護者は利用の枠が限られてしまい、早い者勝ちの状態になっている。</p> <p>【現状】</p> <p>次年度の放デイの空き状況が定まるのは年明けがほとんどであるが、周囲(医療機関や園、就学先)から放デイの利用をすすめられた保護者が、利用枠確保のために早々に焦りながら動いている。早い人だと年長になってすぐ、また年中から動く保護者もいる。どこからも情報を得られなかった保護者は、利用が限られてしまっている。</p>
改 善 の 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・特性のあるお子さんを持つ保護者が放デイの存在を知ることができる ・医療機関や園、学校は、放デイの対象を考慮したうえで情報提供し、相談機関につなげる ・放デイの利用が必要な子に利用してもらう
具 体 的 な 取 組 内 容	<p>【取組内容】</p> <p>放デイの対象や放デイは何をしたらいいのかを保護者や福祉以外の分野に正しく、適切な時期に知ってもらうようにする。また、放デイの利用に関しての相談窓口があること、周知する。</p> <p>【理由】</p> <p>この課題には複数の要因があるが、まずは知らないことが理由とならないようにするため。福祉以外の分野も含めた支援者が適切で正しい情報を伝えることが必要であるため。</p>
期 待 さ れ る 効 果	<p>【効果】</p> <p>放デイを必要としているお子さんの利用につながり、本人・保護者ともに安心して就学を迎えることができる。</p>